

奥州市都市計画マスタープランの
検証について

令和4年3月

奥州市都市整備部都市計画課

目次

1	はじめに	1
	(1) 検証の目的	1
	(2) 検証の方法	1
2	実現化方策に掲げる事業の進捗状況	2
	(1) 進捗状況	2
	(2) 未実施だった事業の今後の取組	3
3	市民アンケート調査の内容と結果	4
4	中学生アンケート調査の内容と結果	8

【都市計画マスタープラン】

都市計画法（昭和 43 年法律第 100 号）第 18 条の 2 に規定する「市町村の都市計画に関する基本的な方針」をいう。長期的な視点から都市及び地域のあるべき姿をより具体的に示すとともに、土地利用、都市基盤整備の方針及びそれを実現するための方策等を示しており、市が実施する社会基盤施設整備や土地利用規制等は、当該計画に即して行われる。

なお、現在の計画期間は、策定（2010 年（平成 22 年））から 20 年後の 2030 年（令和 12 年）となっている。

1 はじめに

(1) 検証の目的

都市計画法第 18 条の 2 の規定に基づく都市計画マスタープランを平成 22 年 3 月に策定してから 10 年が経過しました。この間、市などが実施する土地利用計画やインフラ整備等はこの都市計画マスタープランに即して行われております。

この都市計画マスタープランの計画期間は、策定（2010 年（平成 22 年））から 20 年後の 2030 年（令和 12 年）となっており、今般、中間年を迎えたことから、各種施策の進捗状況とこれまでの取組の成果について検証し、今後の都市計画・まちづくりに反映しようとするものです。

(2) 検証の方法

本市の都市計画マスタープランでは、部門別まちづくり方針に掲げる施策を実現するため、第 8 章に実現化方策を示しております。今回の検証では、この実現化方策に示している各種取組の進捗状況を確認するとともに、その取組に対する市民の評価と今後の意向等を把握するため市民アンケート調査を実施しました。また、次世代を担う若い世代のまちづくりへのニーズの変化を確認するとともに、今後の都市再生やインフラ整備の参考とするため、市内の中学 2 年生を対象とした中学生アンケート調査も実施しました。

▼実現化方策に掲げる事業の進捗状況

実現化方策に示している 31 項目の取組の進捗状況を確認

▼市民アンケート調査

令和 3 年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上の市民 2,993 人に対しアンケート調査を実施

▼中学生アンケート調査

市内全ての中学 2 年生 936 人に対しアンケート調査を実施

2 実現化方策に掲げる事業の進捗状況

(1) 進捗状況

部門別まちづくり方針に掲げる施策を実現するため、第8章の実現化方策に31項目を示しており、令和2年度末における進捗状況は以下のとおりです。

項目数	実施済	概ね実施済	未実施
31	21	2	8
100%	67.7%	6.5%	25.8%
	74.2%		25.8%

なお、項目ごとの実施の有無については、以下のとおりです。

(※詳細は別紙進捗状況の確認表をご覧ください。)

区分	No.	項目	細分類	有無
土地利用	1	都市計画区域の統合及び見直し	—	済
	2	用途地域の見直し	—	済
	3	特定用途制限地域等の指定の検討	—	済
	4	地区計画等の活用	—	概
	5	東西連携軸形成のあり方の検討	—	未
	6	新たな産業拠点形成のあり方の検討	—	済
賑わいづくり	1	おもてなしまちづくりアクションプランの策定	—	済
	2	都市拠点における中心市街地活性化基本計画等の策定	—	済
	3	地域拠点形成計画の策定	—	未
	4	平泉文化遺産地域の環境整備	—	済
ユニバーサルデザイン のまちづくり	1	ユニバーサルデザインまちづくり指針の策定	—	未
道路・交通システム	1	水沢江刺駅と水沢市街地を結ぶ東西道路の整備	—	済
	2	鉄道を横断する道路の整備	都)久田前田中線	済
			都)小石田東袖ノ目線	済
	3	道路整備計画(プログラム)の策定	都市計画道路整備プログラム	未
			生活道路整備計画等	済
	4	都市計画道路の見直し	—	済
	5	スマートインターチェンジの設置の検討	—	済
6	バス路線網等再編計画の策定	—	済	
7	国道等の整備	—	済	
自然環境の保全及び 活用、景観形成、公園・緑地の整備	1	緑の基本計画の策定	—	未
	2	景観計画の策定	—	済
	3	屋外広告物条例の制定	—	未

	4	公園施設長寿命化計画の策定	-	済
	5	開発事業等に際して環境配慮を促す仕組みづくり	-	未
住宅・宅地の供給、生活基盤施設の整備、都市防災の向上	1	住生活基本計画の策定	-	済
	2	汚水排水処理施設の整備	-	済
	3	公共公益施設の耐震化	-	概
	4	都市公園の防災機能の強化	-	未
	5	北上川や胆沢川の堤防整備	-	済
	6	情報通信基盤の整備	-	済

(2) 未実施だった事業の今後の取組

未実施の8項目については、本プランの計画期間である令和12年までに以下の方針により進めてまいります。

区分	No.	項目	今後の取組の方針
土地利用	5	東西連携軸形成のあり方の検討	現在作成を進めている立地適正化計画のまちづくりの方針を踏まえながら、あり方について検討する
賑わいづくり	3	地域拠点形成計画の策定	現在作成を進めている立地適正化計画と連携を図りながら、地域拠点のあるべき姿について検討を進める
ユニバーサルデザインのまちづくり	1	ユニバーサルデザインまちづくり指針の策定	ユニバーサルデザインのまちづくりを推進するには、行政、事業者、市民が行う取り組みに際して具体的に配慮すべき事項を示したガイドラインは必要であることから、今後、策定に向けた検討を進める
道路・交通システム	3	都市計画道路整備プログラムの策定	現在検討している立地適正化計画・都市再生整備計画の策定の中で都市計画道路の整備の優先順位を検討する また、将来の都市構造に合わせた都市計画道路の見直しを行う
自然環境の保全及び活用、景観形成、公園・緑地の整備	1	緑の基本計画の策定	市内における緑地や公園などの現況を把握し、今後のまちづくり計画の策定に併せ取組みを進める
	3	屋外広告物条例の制定	都市としての一体的な景観形成を進めるには、屋外広告物の適切な規制・誘導を図る必要があることから、他市の事例を参考に県との権限移譲に向けた調整を進める
	5	開発事業等に際して環境配慮を促す仕組みづくり	これまでの開発規模や内容を基に現地確認等を行うとともに、従来の審査項目の精査を行う 併せて、生活環境等影響調査への取り組みについても検討する
住宅・宅地の供給、生活基盤施設の整備、都市防災の向上	4	都市公園の防災機能の強化	国土強靱化計画に基づきながら、防災機能の強化・充実について検討を進める

3 市民アンケート調査の内容と結果

(1) 調査目的

都市計画マスタープランの実現化方策に示している各種取組に対する市民の評価と今後の意向等を把握するため、以下のとおり市民アンケート調査を実施しました。

(※詳細は別冊市民アンケート調査結果報告書をご覧ください。)

調査期間	令和3年5月25日(火)から令和3年6月30日(水)まで
調査対象	令和3年4月1日現在で満18歳以上の市民 2,993人
回収状況	回答者993人 回答率33.2%
主な設問	<ul style="list-style-type: none">●都市計画マスタープランの認知度について●10年前と比べた居住環境の改善について●コンパクトシティの進捗について●都市計画マスタープランに基づく取組に対する評価●都市防災の強化のための取組について●市民・事業者・行政の協働による都市計画施策の展開について●将来の奥州市への居住意向について

●都市計画マスタープランの認知度について

内容を把握している	3.6%
名称は聞いたことがあるが、内容までは分からない	35.4%
名称も初めて聞く	58.7%
無回答	2.2%

●10年前と比べた居住環境の改善について

改善されている	8.3%
少し改善されている	35.8%
変わらない	38.6%
改善されていない	13.7%
無回答	3.7%

●コンパクトシティの進捗について

進んでいる	25.2%
進んでいない	65.2%
無回答	9.7%

●都市計画マスタープランに基づく取組に対する評価

項目	評価する	やや評価する	わからない	評価しない	未回答
(土地利用)					
一体の都市として総合的に整備、開発及び保全を行うため水沢、江刺、前沢の3つの都市計画区域の統合を行った。	7.8%	22.3%	53.4%	13.0%	3.6%
	30.1%				
適切な土地利用や建物立地の規制・誘導を行うため、将来を見据えた都市計画用途地域の変更を行った。	4.5%	18.7%	61.4%	9.4%	5.9%
	23.2%				
(賑わいづくり)					
都市拠点の賑わい創出に向け、中心市街地活性化基本計画などの各種計画を策定し環境整備等を進めている。	5.3%	20.1%	52.0%	18.4%	4.1%
	25.4%				
平泉文化遺産である白鳥館遺跡及び長者ヶ原廃寺跡の環境整備を行い観光拠点としての魅力向上を図っている。	10.8%	33.3%	40.8%	10.9%	4.2%
	44.1%				
(バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり)					
国や県のバリアフリー、ユニバーサルデザインのガイドラインに基づき、ひとにやさしい施設整備を行っている。	9.0%	30.2%	46.5%	10.7%	3.6%
	39.2%				
(道路・交通システム)					
道路ネットワーク再構築のため、長期未整備の都市計画道路の計画見直しを行ったほか、水沢駅周辺の東西市街地の連携強化を図るため、鉄道横断道路(橋りょう)の整備を行った。	26.7%	41.6%	20.3%	8.0%	3.4%
	68.3%				
高速道路の有効活用や広域ネットワークの形成を図るため、奥州スマートインターチェンジの整備を行った。	34.7%	39.5%	15.4%	6.3%	4.0%
	74.2%				
国道4号水沢東バイパスなどの幹線道路の早期整備や国道道の渋滞区間の混雑緩和に向けた取組みを行っている。	28.5%	45.9%	16.2%	5.6%	3.7%
	74.4%				
(自然環境の保全及び活用、景観形成、公園・緑地の整備)					
地域の特色ある良好な景観を保全するため景観計画を策定し、魅力あるまちづくりを行っている。	6.8%	26.0%	50.4%	13.6%	3.2%
	32.8%				
公園施設長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理・改修を行っている。	7.0%	24.6%	49.7%	14.3%	4.3%
	31.6%				
(住宅・宅地の供給、生活基盤施設の整備)					
良好な住宅・宅地を供給するために住生活基本計画を策定し、計画的かつ効率的に住宅施策を進めている。	6.2%	25.3%	56.0%	8.6%	3.9%
	31.5%				
公衆衛生の向上及び公共用水域の水質の保全を図るため、汚水処理基本計画を策定し良好な居住環境の形成を進めている。	15.5%	35.9%	39.1%	6.3%	3.2%
	51.4%				
総合計割合	13.6%	30.3%	41.8%	10.4%	4.0%
	43.9%				

●都市防災の強化のための取組について

災害危険箇所などにおける土地利用規制による立地制限や誘導施策の実施	14.3%
避難所となる公園、広場などの確保や防災機能の強化	21.6%
災害発生時における救急搬送路や避難路の確保（無電柱化など）	17.3%
緊急車両の円滑な通行のため、行き止まりの解消や狭あい道路の拡幅	17.8%
防災関連情報の受発信設備の整備	14.3%
避難訓練や災害講習会の開催など、市民の防災意識の向上	11.6%
その他	1.9%
無回答	1.2%

●市民・事業者・行政の協働による都市計画施策の展開について

市民、事業者が中心となっていく	3.1%
行政（役所）が行う	11.3%
市民、事業者が中心となっていく、行政（役所）は表に出ず裏で支援する	6.5%
市民、事業者、行政（役所）がそれぞれできることを理解し協力し合っていく	75.0%
その他	1.7%
無回答	2.3%

●将来の奥州市への居留意向について〔（ ）内はH19調査結果〕

これからもずっと住み続けたい	42.5% (54.3%)
どちらかといえば住み続けたい	31.5% (21.8%)
市内の他の場所へ移りたい	4.2% (4.7%)
市外へ引っ越したい	4.4% (3.2%)
何ともいえない	15.4% (15.4%)
無回答	1.9% (0.7%)

(2) 調査結果

▼ 都市計画マスタープランを策定（平成22年3月）してから10年以上が経過した現在の認知度については、「名称も初めて聞く」とした回答割合が高く、特に若年層にその傾向が見られました。

都市計画マスタープランは、中長期的な視点から都市及び地域のあるべき姿を明確にし、土地利用、都市基盤整備の方針及びそれを実現するための方策等を示しており、市が実施する社会基盤施設整備や土地利用規制等は、当該計画に即して行われていることから、今後は市広報やホームページ等を通じて広く市民に周知し理解を深めていく必要があると考えます。

-
-
- ▼ 居住環境の改善では、「改善された」が 44.1%、「変わらないが 38.6%」、改善されていないが 13.7%と都市計画マスタープランに基づくまちづくりの効果は一定程度見られたものの、一方でコンパクトシティの進捗については、「進んでいる」が 25.2%、「進んでいない」が 65.2%という結果でした。

当市のコンパクトシティが進んでいないと回答した主な理由は、「中心市街地の賑わいが喪失しているから」が大半を占め、今後作成する立地適正化計画において中心市街地の活性化について十分に検討することが必要であると改めて認識しました。

人口が減少に転じ、高齢者の急速な増加が見込まれる中では、コンパクトなまちづくりを形成することが重要となっていることから、都市計画マスタープランに掲げる「集約型都市構造＝コンパクトシティ」の実現を確実に進める必要があると考えます。

- ▼ 個別施策の評価については、幹線道路や SIC、下水道の整備などのハード事業については、「評価する」とした割合が多いのに対し、土地利用計画や賑わいづくり、景観形成などのソフト施策については、「わからない」とした回答の割合が多い結果となりました。

今後は、これらの施策の進捗を市民の皆様が確認できるよう、広報等を活用しながら広く発信し、都市計画がより身近なものとなるよう「見える化」を進める必要があると考えます。

- ▼ 気候変動の影響により近年頻発・激甚化する自然災害に対し持続的に安全な都市を構築していくためには、関係機関や団体等との連携を図り、これまで以上にソフト・ハードの防災対策や災害リスクを踏まえた検討を進めていくことが重要と考えます。

今回のアンケート結果を参考としながら、今後作成する立地適正化計画において、まちづくりにおける総合的な防災・減災対策を検討していくこととします。

- ▼ 市民・事業者・行政の協働による都市計画・まちづくり施策の展開については、全世代を通して、「市民、事業者、行政（役所）がそれぞれできることを理解し協力し合っていく」とした回答が多い結果となりました。

今後、少子高齢化・人口減少社会が進むなか、また限られた財源のなかで効率的、効果的にまちづくりを進めるためには、市民、事業者、行政が協働して取り組むことが重要です。都市計画・まちづくり施策においても協働によるまちづくりを推進します。

4 中学生アンケート調査の内容と結果

(1) 調査目的

都市計画マスタープランに基づくまちづくりの進展によるニーズの変化等を確認するとともに、子ども達のまちづくりの意向等を把握し今後のインフラ整備等に反映するため、以下のとおり市内の中学生2年生を対象としたアンケート調査を実施しました。

なお、当該アンケート調査は、平成19年度（奥州市都市計画マスタープラン作成時）にも実施しております。

（※詳細は別冊市民アンケート調査結果報告書をご覧ください。）

調査期間	令和3年5月上旬から令和3年6月4日（金）まで
調査対象	市内全ての中学2年生 936人
回収状況	回答者923人 回答率98.6%
主な設問	<ul style="list-style-type: none"> ●奥州市と地域の評価について ●奥州市での居住意向について ●まちづくりの方向性について ●都市基盤の整備に関する取組について ●将来就きたい職業について ●地域に望む施設について ●地域への関わり合い（まちづくりへの参画）について ●公園利用頻度及び大規模公園に望む施設の把握 ●将来のまちづくりについて

●奥州市の評価について〔（ ）内はH19調査結果〕

設 問	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	わからな い	未回答
①美しいまちである	24.8% (10.6%)	54.1% (49.3%)	14.6% (29.8%)	2.7% (5.0%)	3.6% (4.9%)	0.2% (0.6%)
②自然に恵まれたまちである	62.4% (35.8%)	29.9% (43.0%)	4.9% (14.9%)	1.0% (3.4%)	1.7% (2.9%)	0.1% (0.0%)
③明るいまちである	35.1% (14.8%)	42.9% (43.7%)	14.4% (28.7%)	2.6% (7.6%)	4.9% (5.1%)	0.1% (0.1%)
④開放的なまちである	36.5% (12.9%)	37.1% (41.6%)	14.6% (29.3%)	3.3% (5.2%)	8.5% (10.7%)	0.1% (0.3%)
⑤活気のあるまちである	26.1% (8.8%)	41.7% (34.6%)	18.6% (37.0%)	6.4% (12.9%)	7.2% (6.6%)	0.0% (0.2%)
⑥生活に便利なまちである	22.1% (10.1%)	39.9% (34.9%)	23.1% (33.3%)	11.4% (15.7%)	3.5% (5.9%)	0.1% (0.2%)
⑦個性（特色）のあるまちである	29.3% (13.8%)	34.6% (36.1%)	20.7% (32.3%)	6.2% (7.6%)	8.9% (10.0%)	0.4% (0.2%)
⑧ふれあいと連帯感があるまちである	28.9% (13.8%)	41.5% (42.1%)	16.3% (26.0%)	4.3% (7.1%)	8.7% (10.7%)	0.3% (0.3%)

⑨市民としての誇りや郷土愛があるまちである	35.5% (21.5%)	38.9% (41.3%)	13.2% (21.4%)	4.0% (5.4%)	8.2% (10.2%)	0.1% (0.2%)
⑩市としての一体感があるまちである	26.2% (9.6%)	39.0% (36.8%)	19.3% (31.4%)	4.4% (8.3%)	10.9% (13.7%)	0.1% (0.2%)

●地域の評価について〔()内はH19調査結果〕

設 問	そう思う	やや そう思う	あまり 思わない	思わない	わからない	未回答
①まちがにぎやかで活気がある	18.1% (6.0%)	40.6% (26.2%)	26.9% (40.8%)	8.3% (21.7%)	5.7% (4.9%)	0.3% (0.3%)
②近所の人たちとのふれあいがある	36.8% (24.3%)	37.7% (43.4%)	15.6% (20.6%)	5.7% (7.4%)	3.9% (3.9%)	0.2% (0.3%)
③買い物しやすいお店がある	39.8% (21.1%)	28.9% (32.7%)	16.1% (22.0%)	12.2% (21.5%)	2.7% (2.6%)	0.2% (0.1%)
④近くに山や川などの自然がある	59.9% (44.2%)	23.6% (30.5%)	8.1% (14.4%)	4.6% (7.5%)	3.5% (3.0%)	0.3% (0.3%)
⑤公園や広場など遊ぶところがある	49.4% (26.8%)	26.9% (34.4%)	13.9% (22.3%)	8.0% (13.5%)	1.6% (2.6%)	0.2% (0.4%)
⑥交通事故や犯罪が少ない	44.4% (29.1%)	31.1% (33.5%)	10.7% (16.7%)	3.3% (10.5%)	10.4% (9.8%)	0.1% (0.3%)
⑦通学路を安心して通える	51.5% (27.5%)	32.3% (38.7%)	8.8% (21.5%)	3.8% (7.8%)	3.5% (4.0%)	0.2% (0.6%)
⑧ゴミのポイ捨てや落書きなどが少ない	23.1% (13.4%)	33.7% (28.6%)	25.0% (31.3%)	11.8% (20.1%)	6.1% (6.1%)	0.3% (0.4%)

●奥州市での居留意向について〔()内はH19調査結果〕

①これからも住み続けたい	21.7% (16.6%)
②市内の他の場所へ移りたい	5.2% (4.6%)
③市外へ移りたい	36.4% (30.0%)
④何ともいえない	35.3% (37.9%)
—無回答	1.4% (10.9%)

「②市内の他の場所へ移りたい」と答えた人の理由（複数（2つまで）回答）【回答数 48 (56)】

・買い物や娯楽の場が少ないから	72.9% (75.0%)
・今住んでいるところに魅力を感じないから	20.8% (21.4%)
・生活・住宅環境が悪いから	16.7% (8.9%)
・交通が不便だから	14.6% (35.7%)
・人が少なくてさみしいから	12.5% (5.4%)
・犯罪や交通事故、災害に不安があるから	4.2% (8.9%)
・その他	18.8% (10.7%)

「③市外へ移りたい」と答えた人の理由（複数（3つまで）回答）【回答数 336（364）】

・買い物や娯楽の場が少ないから	56.3% (54.9%)
・東京や大阪、仙台などの都会に憧れているから	51.5% (45.1%)
・将来の夢を追いかけていたいから	44.9% (45.1%)
・自分がやりたい仕事がないから	26.5% (40.9%)
・奥州市に魅力を感じないから	20.2% (22.8%)
・交通が不便だから	18.2% (17.6%)
・人が少なくてさみしいから	8.3% (7.7%)
・医療や福祉に不安があるから	7.1% (8.5%)
・生活・住宅環境が悪いから	5.7% (10.2%)
・犯罪や交通事故、災害に不安があるから	2.7% (3.6%)
・その他	13.1% (10.2%)

●まちづくりの方向性について（複数（3つまで）回答）〔()内はH19調査結果〕

・Wi-Fiなどの情報通信機能の発達したまち	38.7% (17.8%)
・犯罪や交通事故のない安心できるまち	36.0% (37.7%)
・自然と共生する美しいまち	29.0% (30.2%)
・ゴミの減量やリサイクルに取り組む環境にやさしいまち	22.5% (25.5%)
・商店街が魅力と賑わいのあるまち	21.5% (25.8%)
・公共交通機関（鉄道、バス）の利便性が高いまち	18.1% (13.1%)
・道路や歩道、公園が整備されたまち	16.9% (13.7%)
・医療や福祉サービスが充実したまち	16.0% (13.9%)
・多くの人を訪れる観光資源のあるまち	13.8% (9.5%)
・若者の働く場や雇用機会が多いまち	11.7% (13.1%)
・教育や子育て環境が整ったまち	11.3% (7.8%)
・芸術や歴史、文化に触れることができるまち	10.1% (6.1%)
・スポーツやレクリエーションが充実したまち	10.0% (14.7%)
・農林業や工業などの産業が盛んなまち	7.2% (4.4%)
・市民が積極的にまちづくりに参加できるまち	6.4% (7.9%)
・その他	2.9% (2.3%)
・わからない	2.7% (4.5%)
・無回答	11.1% (- %)

●都市基盤の整備に関する取組について（複数（3つまで）回答）〔（ ）内はH19調査結果〕

・Wi-Fiのような高速・大容量の情報通信を可能とした情報通信網の整備	61.3% (35.7%)
・身近な生活道路の整備	43.7% (41.8%)
・公営住宅、優良住宅地の整備や開発	35.1% (29.0%)
・市内外への公共交通機関網の整備	26.2% (23.6%)
・調和のとれた景観形成の強化	24.7% (30.5%)
・地域にあった土地利用の推進	23.4% (34.2%)
・市街地と周辺部をつなぐ幹線道路の整備	16.1% (20.0%)
・上下水道の安定供給、下水道の整備促進	11.5% (14.3%)
・その他	4.2% (4.7%)
・わからない	9.4% (14.3%)
・無回答	0.8% (—%)

●将来就きたい職業について（複数（3つまで）回答）〔（ ）内はH19調査結果〕

・医療、保健、福祉関係	20.9% (19.2%)
・公務員	18.2% (25.0%)
・コンピューター、IT関係	16.7% (14.4%)
・スポーツ（プロ選手、トレーナー）関係	15.6% (17.2%)
・商業、飲食業関係	15.3% (21.6%)
・教員、保育士関係	14.3% (18.0%)
・建設業（設計、建築、土木）関係	13.5% (10.6%)
・製造業（工業）関係	12.9% (15.2%)
・理容、美容関係	12.6% (13.5%)
・文化、芸能、マスコミ（タレント、作家、テレビ）関係	10.1% (13.3%)
・農林水産業関係	6.3% (4.5%)
・交通、運輸、観光関係	2.9% (5.5%)
・その他	10.7% (7.8%)
・わからない	20.0% (19.9%)
・無回答	0.3% (—%)

●地域に望む施設について（複数（2つまで）回答）〔（ ）内はH19調査結果〕

・ショッピングモールのような大規模商業施設	48.1% (—)
・映画館などの娯楽施設	41.9% (57.1%)
・運動公園など外で運動できる施設	17.7% (17.1%)
・レストランや喫茶店などの飲食店	16.7% (13.2%)
・スーパーマーケットやコンビニエンスストアなど買い物ができる物販店舗	15.6% (28.6%)

・ゲームセンター、カラオケボックスなどの遊技施設	15.5% (19.1%)
・ブランド品や芸能人などの専門ショップ	13.1% (21.0%)
・公園、広場など外で遊べる施設	13.0% (10.8%)
・音楽スタジオやイベント施設など屋内で遊べる施設	10.2% (18.3%)
・その他	6.7% (8.1%)
・わからない	2.5% (5.2%)
・無回答	0.2% (- %)

●地域への関わり合い（まちづくりへの参画）について〔（ ）内はH19調査結果〕

設 問	いつもやっている	時々やっている	あまりやらない	やったことがない	やる機会がない	未回答
①近所の人に会ったらあいさつをする	56.9% (38.7%)	34.6% (46.0%)	6.4% (12.0%)	0.4% (1.3%)	1.4% (1.4%)	0.3% (0.5%)
②ゴミの分別（リサイクル）をする	44.9% (28.1%)	31.5% (37.1%)	14.4% (22.9%)	2.7% (4.2%)	5.9% (7.1%)	0.7% (0.5%)
③外出したときに落ちて いるゴミを拾う	10.1% (2.8%)	23.5% (14.9%)	41.7% (48.2%)	15.7% (25.9%)	8.1% (7.6%)	0.9% (0.6%)
④地域の活動やお祭りに 積極的に参加する	33.6% (24.6%)	41.0% (45.1%)	17.6% (23.1%)	3.1% (3.3%)	4.2% (3.1%)	0.5% (0.8%)
⑤体の不自由な人やお年 寄りなどの手助けをする	19.0% (7.3%)	28.5% (24.8%)	21.6% (34.2%)	9.3% (11.3%)	21.0% (21.7%)	0.7% (0.6%)

●公園利用頻度及び大規模公園に望む施設の把握

▼現在の利用頻度

①よく利用している	14.8%
②時々利用している	38.4%
③あまり利用しない	25.4%
④全く利用しない	20.7%
－無回答	0.8%

▼大規模公園に望む施設

Wi-Fi環境を備えた読書や学習等ができる屋内・屋外オープンスペース	69.1%
オープンテラスを併設したカフェ など	43.8%
屋台村やキッチンカーなどの軽食販売スペース	42.4%
小動物とふれあえるコーナー	39.0%
複合遊具（のぼる、つかむ、すべる、わたる、はしる等ができる遊具）	38.1%
体育館などのリニューアルした屋内運動施設	31.5%
バスケットボールなどができる屋外コート	27.7%
芝生広場	27.2%
グラウンドなどのリニューアルした屋外運動施設	22.2%

イベント広場	19.8%
展望台	19.5%
じゃぶじゃぶ池	14.7%
その他	6.7%
わからない	2.8%
無回答	0.2%

▼前問の施設が整備された場合の利用意向

①時間があれば毎日のように利用したい	40.1%
②時間があれば時々は利用したい	55.7%
③時間があってもほとんど利用しない	1.6%
④利用しない	2.2%
－無回答	0.4%

(2) 調査結果

▼ 市と地域の評価では、前回調査（H19）より評価が上がっていますが、20年後も奥州市に住みたいかという設問に対しては、前回調査結果と同様「市外へ移りたい」という回答が多い結果となりました。理由も前回調査同様、「買い物や娯楽の場が少ないから」や「都会への憧れ」などが多く、「奥州市に魅力を感じないから」というのも少なくない回答でした。

▼ まちづくりの方向性については、生活道路や無料 Wi-Fi の整備、公営住宅・優良住宅地の整備・開発の回答割合が高く、また、地域に望む施設については、大規模商業施設や映画館などの娯楽施設の割合が高くなりました。

▼ 今後、当市においても老朽化した水沢公園などの大規模公園の改修を行っていく計画であり、計画検討にあたり中学生の公園の利用状況や意向を確認しました。

中学生の現在の公園の利用状況については、「よく利用している」は14.8%、「時々利用している」が38.4%、「あまり利用しない、全く利用しない」は合わせて46.1%という結果でした。

そこで公園に今後どのような施設が必要かと聞いたところ、上位5つは「Wi-Fi 環境を備えた読書や学習等ができる屋内外オープンスペース」が69.1%、次いで「オープンテラスを併設したカフェなど」が43.8%、次に「屋台村やキッチンカーなどの軽食販売スペース」が42.4%、次に「小動物とふれあえるコーナー」が39.0%、「複合遊具」が38.1%という結果でした。

これらを整備された公園にリニューアルした場合、利用するかという質問に関しては、4割の生徒が「時間があれば毎日のように利用したい」と回答しており、「時々は利用したい」と合わせると大多数が「利用したい」との意向を示しました。

▼ これらの回答は、今後まちづくりを進めるうえで大いに参考となるものであり、来訪者や利用者の増、滞在時間の延長、ひいては街の賑わいに繋がるきっかけになるのではないかと考えているところであります。